



コツコツ とこどん

大仙市立太田中学校
令和4年7月1日
NO. 46



うららかに たくましく ~耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~

試験とは

自分との対話 そして 成果の確認

3年生第1回実力テストに臨む



逃げたり諦めたりせずこのテストに臨めたでしょうか。臨んだものと思いたいです…。

入試は総合的な判断で合格が決まりますが、試験結果は大きな判断材料です。その入試につなげるために、3年生の1年間にある10回以上のテストは「結果を改善につなげる」テストであってほしいと思っています。結果を正しく受け止め、間違いは自分の弱点、弱点は自分の伸びしろ、弱点を減らすことが強くなることだと捉えて、自分の弱点をどうやって改善していくべきかを考えてテストに臨んでほしいものです。そのために、一人勉強の仕方を変えていく必要がある生徒も多くみられます。一人勉強はそれをやるのが目的ではなく、家庭での学習を習慣化させ、自分の力を伸ばすための手段です。何かを写してノートに埋める（インプット）、時間を費やす作業ではないはず。目指す目標を達成するために自



分の苦手なことや難しい問題にもどんどんチャレンジ（アウトプット）し、弱点の改善に努める必要があります。これが誰にも当てはまるベストの一人勉強法というのはありませんが、「まとめと問題練習はワンセット」「より問題練習を」=インプットよりもアウトプットを多くすることが学んだことを定着させるために有効と言われることが多くあります。自分の弱点や失敗を減らしていくための学習にシフトチェンジをして、自分に合った方法を探してほしいと思います。そのために、友達のやり方を参考にすることや誰かに相談したり教えてもらったりすることも大切です。どうぞ先生方を利用してください。



失敗は誰にもありますが、そこから目をそらしていても何も解決しません。失敗がダメなのではなく“本当にダメなのはその失敗を次に生かせないこと”“他人に促されなくても努力する人間が一番成長する”漫画の言葉ですが、うなずいてしまう言葉です。

遠い昔、私の中学校時代、同じ部活動で成績が抜群によかった友人が、中学校の時に話したこと（確かそんな内容でした）を紹介します。

「まずは目標は高くもつ。計画はあくまで計画であり最低限の目安。予定通りにいったから終了ではない。計画を超えてどれだけできるかにチャレンジしているんだよ。勉強も部活動も」

少し前のCMの言葉「意識高すぎ高杉君」でした。私も負けないようにがんばったつもりですが…。